

月刊 きょうと教育通信

Vol.30 平成17年7月号 発行:京都市教育委員会総務課 (TEL222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

学校運営協議会を設置！ 17年度中には全国最多の 11校に拡大！！

京都市では、これまでから、学校評議員や外部評価を含む「学校評価システム」などの「開かれた学校づくり」の取組を基盤として、保護者や地域の方々の声を学校運営に反映し、学校教育への参画意識を高めるとともに、ボランティアなどによる支援を充実する「京都方式」の学校運営協議会制度を確立しています。

5月には、養護学校として全国初の設置となる西総合養護学校や新町小、御所南小、高倉小、京都御池中、7月には岩倉北小の6校において、学校運営協議会を設置しました。各校初めての協議会では、学校長から学校教育方針などについて説明し、引き続き、ともに取組を進める企画推進委員も参画され、教職員とともに今後の取組について熱心な協議が行われました。



西総合養護学校



新町小学校

さらに、今年度中には11校に拡大する予定で、また8月の「地域教育フォーラムイン京都」で、学校運営協議会をテーマとした分科会を開催するなど全国に発信し、学校を中心とした地域ぐるみの教育を力強く推進していきます。

◇ご意見・お問合せ＝学校指導課 (TEL222-3811)

下京中学校新築工事が起工！

下京区の5つの中学校（郁文・成徳・尚徳・皆山・梅逕中）を統合し、平成19年4月に開校予定の京都市立下京中学校の起工式が、6月22日、地元19学区の代表・保護者など約400名の参加のもと、開催されました。

式典では、門川大作教育長が、「統合して良かったと実感できる学校となるよう共に取り組んでいきたい」と述べた後、1期生となる5中学校の1年生の活動を紹介したビデオを上映し、生徒が作ったスローガン「出会い協力そして笑顔」のとおり、笑顔一杯に活動する生徒の様子に、参加者の下京中学校への期待が大きく膨らみました。



◇ご意見・お問合せ＝下京区統合中学校開設準備室 (TEL371-2009)

《6月の主なできごと》

8日 地産地消（知産知消）推進プロジェクト会議提言を受けて、京野菜（万願寺とうがらし）を活用した給食を開始！

18日 学校用務研究会が学校現場の不審者の侵入



入対策として、手作りの「簡易さすまた」を作製。

30日 全国初！PFI手法を導入した小学校普通教室冷房化事業の入札を公告

自動体外式除細動器を配置

学校保健活動に尽力された方のご遺族から、このたび、医療器具である自動体外式除細動器（AED）20台を寄贈いただきました。これは、突然死の原因となる不整脈を起こした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すもので、高校全校と中学校各支部などに配置。また、休日等で開催される各種体育大会にも貸し出します。

なお、京都市も配備を進めており、教育機関では、京都アスニー、科学センター、花背山の家に1台ずつ配置されます。

全市立学校・幼稚園で「環境宣言」を策定！

このほど、全ての京都市立学校・幼稚園で「環境宣言」が策定されました。

この「環境宣言」は、「京都議定書」の発効や、全国自治体初となる「京都市地球温暖化対策条例」の施行など、ここ京都市を中心に、環境を基軸とした施策・取組が積極的に推進される中、重要な課題となっている環境教育の推進に向けての基本方針として、策定されたものです。

宣言は、環境を身近な問題として捉え、幼児・児童・生徒・教職員の環境意識の一層の高揚を図るとともに、学校教育活動をはじめ、家庭・地域と一体となった取組を積極的に推進

するため、宣言の名称・内容とも各学校が地域の特色を生かして独自に定めたものとなっています。

「わたしがうけつごう！さとやまとせせらぎ」（松ヶ崎小）、「『未来につなぐ若鮎の里』宣言」（京北第一小）等、名称に地域の象徴的な自然環境を取り入れたものや、内容に「近隣小中学校と連携した公園の清掃活動」（中京もえぎ幼）、「有栖川・桂川の清掃活動」（嵯峨中）等、地域における具体的行動を示したものなど、多彩な「環境宣言」が策定されるとともに、環境月間の6月を皮切りとして多くの学校で取組が展開されています。

「環境宣言」の策定を契機として、学校・家庭・地域が連携した環境教育の一層の充実を図り、子どもたちが生活の全ての場面で、学んだことを実践していく力の育成が期待されています。

◇ご意見・お問合せ＝学校指導課（TEL222-3811）

～多くの企業の協力を得て～ 京都市立総合養護学校版 デュアルシステム研究会発足！



「京都市立総合養護学校版デュアルシステム研究会」の第1回会議が、6月15日に白河総合養護学校で開催されました。

この研究会は、学校と企業が緊密に連携し、生徒が学校で学んだことを企業での長期的・計画的な実習の中で実際に体験することで、企業と協同して新たな人材育成を行う「京都市立総合養護学校版デュアルシステム」の構築に向け、調査・検討を行うためのものです。

会議には、京都経営者協会、オムロン、島津製作所、聖護院八ッ橋総本店、宝酒造、日本新薬の人事担当者等と、白河・鳴滝総合養護学校の校長等が参加し、障害者の雇用状況などについての説明・討議や職業学科の授業を見学されました。

今後は、学校における職業教育のあり方や、長期企業実習の実施に向けた様々な課題についての協議が進められていきます。

◇ご意見・お問合せ＝総合育成支援課（TEL352-2287）

H氏賞を受賞した 紫野高校 山本純子教諭

京都市立学校文化芸術賞を受賞！

文化芸術活動において優秀な成績を修めた方に贈られる市立学校文化芸術賞を受賞。

これは、山本教諭の詩集『あまのがわ』が、日常を平易な言葉で綴ることで、難解とされる現代詩壇に新風を吹き込んだことなどが高く評価され、詩壇の芥川賞とも言われる第55回H氏賞を受賞したことを称えるものです。

山本教諭は、式の中で「H氏賞を受賞できたのも紫野という素晴らしい学校の中で様々な出会いがあるからです。「紫野効果」と思います。」と述べられましたが、学校でも、熱心な指導により、昨年度俳句甲子園で最優秀賞を受賞した高島春佳さんをはじめ、たくさんの表現力豊かな生徒を育成されています。

今後も、山本教諭の詩人としての活躍とともに、先生の御指導による、生徒達の表現力の向上と感性豊かな人間としての成長が期待されます！



◇ご意見・お問合せ＝学校指導課（TEL222-3811）